

主要地方道盛岡大迫東和線築川工区 トンネル暫定貫通！

3月3日(木)

3月3日(木)、築川ダム建設付替県道トンネル築造工事現場において築川ダム建設事務所豊島所長の発破点火により導坑の最後の地山が取り除かれ、平成15年12月から掘削を始めた延長1466mのトンネルが貫通いたしました。

本トンネルは稀少猛禽類のクマタカの営巣地に近ことから、施工に当たっては発破音の制御のため防音扉の設置、夜間作業における照明が営巣行動に影響が無いよう照明灯へのフードの装着、仮設建物を周辺環境にマッチするように塗装をした等の配慮を行ないました。その結果平成16年5月にクマタカの幼鳥は無事巣立ちをいたしました。



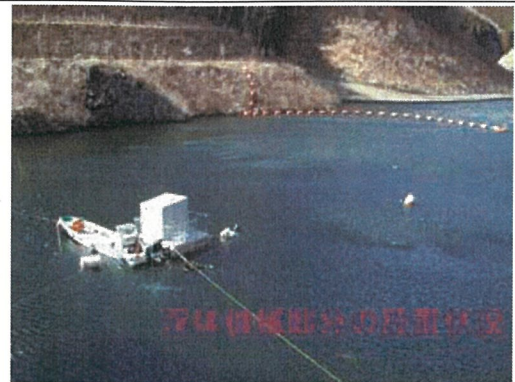
盛川ヨシ焼きを実施しました！

3月6日(日)

盛川の河川環境改善の一環として3月6日(日)に大船渡市内を流れる盛川河川敷でヨシ焼きを行いました。参加者は約200名。今回は漁協の方々や河川敷利用団体の方々にも参加をいただきました。

今回は前回の3倍の面積、約3haを焼却する計画で、焼却用バーナーを11機用意しましたが、前日の雪の影響でなかなかヨシが燃えず、草刈機や鎌で手際よく刈り取り、集めたヨシの山にバーナーで火をつけていきました。

約2時間の作業により、予定した面積のヨシがきれいに無くなりました。最後は消防団による放水で今回のヨシ焼き作業は終了しました。



綾里川ダムで湖沼の水質向上への取組み！

3月9日(水)

綾里川ダムではほかの湖沼と比べ、水質自体はさほど悪くはないものの、地形的に水温が高くなりやすい部分ではアオコが発生したり、水を供給している浄水場が浄化コストの低減を求めていることなどから、平成15年度より国庫補助事業により水質浄化に取り組んでいます。

昨年度は現地において溶存酸素濃度向上の実験をさまざまな工法で行い、これまで知見の得られていなかった水中での酸素の移動について検証しました。

今年度は、湖底の溶存酸素濃度を強制的に上昇させる装置と、水の循環を制御するための空気曝気装置のハイブリッド設備を国内で初めて整備しています。



花巻空港緩衝緑地をつくる会、 中間報告会を開催

3月10日(木)

「花巻空港緩衝緑地をつくる会」の16年度の検討結果を発表する中間報告会が3月10日、開催されました。

同会は花巻空港の緩衝緑地の整備・管理等について、地域の特色を生かし、地域と行政が一体となって取り組んでいくことを目的に、16年7月に設立。空港周辺の緑地を4つの地区に分け、地域と行政が協働して管理を行うことを念頭におき、「管理のしやすい緑地」を目指して検討してきました。

今後は、地区部会の検討結果をもとに実施設計を行い現地の施工に取りかかりたいと考えていますが、「つくる会」による作業も提案していきたいと考えています。



一般国道 284 号黒沢橋が開通！

3月16日(水)

一関市の中心部に位置し、萩荘地区と山目地区を結ぶ黒沢橋が、当初の予定より約1ヶ月半も早く、3月16日に開通しました。市の中心部に位置する橋梁とあって、開通式典は地域住民およそ700名という稀にみる参加者数となりました。

開通式は、一関地方振興局の職員が「堅苦しいイメージをなくし、気軽に親しみ楽しめる開通式」をスローガンに知恵を絞り、地域住民が全員参加できるようなプログラムを検討。

当たりくじ付きの餅撒きや一関高専のロボットによるくす玉開披のほか、親子三代と当たり餅を拾った方4名が参加しての渡り初めが行われ、和気あいあいと歩かれる姿が印象深いものがありました。



主要地方道一関大東線「東大橋」が開通！

3月25日(金)

平成6年度より施行しておりました一関大東線前堀工区が、東大橋の完成により、工区全体が完了となりました。前堀道路は、近年の交通需要への対応、慢性的な市街地の渋滞解消や沿岸部と内陸部を結ぶ交通ネットワークの形成などを目的とし進められてきました。

開通式は、当初は橋上での式典の予定でしたが、天候が急変し吹雪模様となったため、急きょ会場を北上川学習交流館「あいぼ一と」に変更して開催しました。また、東大橋に接続する一関市の竹山東工業団地線も合わせて開通となり、これで市街地を迂回し、一般国道4号や東北道一関IC.と一般国道284号を結ぶ4車線のルートが完成したことになりました。



**一般国道 282 号西根バイパスの一部を
供用開始！**

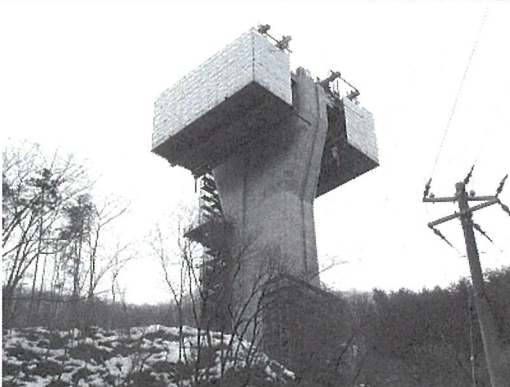
3月22日(火)

3月22日(火)、西根バイパスの一部が供用開始されました。平成6年度に事業着手して以来、11年目にして、一期工区5,200mの内の1,400mが完成。

今年の9月頃までにあと1,000m、再来年3月には一期工区全線の供用開始に向けて岩手出張所長以下一丸となって頑張ります。

なお、今回供用開始した区間は現一般国道282号と接続していないため、北進車は一般県道西根好摩線及び町道山子沢線から、南進車は一般県道岩手西根線からの通行となります。

延長 一期工区 5,200m、二期工区 4,700m
全体 9,900m 全幅員 18.0m、
総事業費 80 億円、 H16 まで 51 億円



**一般国道 106 号築川道路、
県内初の橋梁形式で施工！**

3月24日(木)

現在、築川ダムでは付替道路の工事が最盛期を向えております。その中でも、ダム湖に架かる「付替国道9号橋」は、エクストラードードPC橋という県内初の橋梁形式を採用しています。この構造形式は、外観は同じ外ケーブル構造となる斜張橋に似ていますが、力学的には桁橋に近いので、桁橋と斜張橋の中間的な構造形式とされています。

平成16年度から上部工工事に切り掛かり、脚頭部・柱頭部(橋脚の上の部分)が完了し、これから本格的に張出し架設を開始します。また、今年の7月頃からは斜材工の施工も始まりますので、興味のある方は、ぜひ見学にいらしてください。